

三種建発－４２７
平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 様

三種町長 佐 藤 亮



今度の道路行政についての意見要望について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号により依頼のありましたこのことについて、別添えのとおり回答いたします。

担当

三種町役場建設課 管理係 近藤

TEL：0185－72－1531

FAX：0185－72－1536

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○安全な歩道の確保について

道路は当然のことながら、車と歩行者が共に安全に通行できることが必要です。少なくとも交通量の多い国道においては絶対条件となります。

ところが、新規につくられたバイパスなどは別として、古い国道においては車優先で、歩行者は狭い歩道を怖い思いをして通行しています。(特に集落地内)

歩行者は高齢者と子供が多数です。歩行者優先の原則は、交通ルールでは整備されていますが、交通施設としての道路ではなお一層の配慮と整備を要望します。

○道路特定財源の一般財源化について

一般財源化によって道路行政への影響が大きいと想定されます。政府との予算折衝においては、地方組織や地方住民の声を十分把握されて対応されることを要望します。

特に急激に発展する東アジアとの交易を推進するためにも、日本海側の高速ネットワークの構築を急いでいただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

・高速道路延伸による環境悪化について

現在、日沿道は二ツ井ICまで開通し、八竜IC～二ツ井ICが無料区間となったことで、利用者に大歓迎されており県北地域発展のためにもありがたいことです。

ところで、開通前までは国道7号、広域農道など分散して通行した車が、高速無料区間に集中する状況になりました。その結果、有料区間は避けて従来の国道7号に集中するため、三種町萱刈沢～同町大曲までのバイパスのない区間は車両通行量が大幅に増加し、騒音、道路横断の危険増大、大型車両による家屋の振動、熟睡できないなどの声が地域の中で多く出されています。

様式 ②

秋田県三種町

○課題

高速道が完成すれば、車社会の利便性が高まり、そこに住む人たちにもより良い住環境と安全性がもたらされるべきであります。

現状は、逆の部分もあるのでその解決が課題と考えます。私なりの考えは以前から申し上げており、八竜IC～琴丘森岳ICを無料化すれば解決するはずです。なぜならバイパスのない区間は、このケースの範囲では萱刈沢～大曲間だけだからです。

②ー2 地域の目指すべき将来像

○車は高速道へ、一般道は歩行者、自転車の安全向上対策を

高速道は車専用ですから、車は最大限、高速道路を利用する。その分だけ一般道路は余裕が出来るから、人(特に交通弱者、高齢者)にやさしい、安全な道路にしてほしい。

こうして両者の性格付け、役割を明確に誰にもわかるようにすることによって道路対策に対する地域住民の理解が深まるものと考えます。現状では、高速料金負担が重過ぎるのでは。例えば三種町から家族で秋田市へ映画を観に行く人たちの話では、親子での映画鑑賞料金を考えれば、一般国道だけを利用するか、片道だけ高速利用の人が多いようであります。買い物では高速利用がもっと少ないように思われます。

私は民主党の主張のように全面無料化が良いとは思いません。しかし、例えば料金を 1/3 にして利用を 3 倍にすれば高速道利用率が向上し、一般道はもっと安全対策が施せることで総体的に地域の発展に結びつくものと考えます。

早く安全に、安く遠くまで……。大胆な発想転換を要望します